

2026年度 城北中学入試 国語 問題形式変更に関する資料

1、変更点

2025年度入試までは、文章問題（90点）と漢字問題（10点）で構成されていました。
2026年度入試からは、文章問題（80点）に加え、漢字問題に関連する形で語彙・文法問題（20点）を出題する構成に変更いたします。

2、例題と出題意図

【語彙問題の一例】

問 漢字辞典で「安」という字を調べると、次の①～⑤の意味を持つことがわかりました。
後に続くア～オの「安」から続く熟語のなかで、「① おく。すえる。」の意味で用いられているものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ① やすらかである。落ち着いている。心配がない。
 - ② 値段がやすい。
 - ③ たやすい。簡単である。
 - ④ たのしむ。甘んじる。
 - ⑤ おく。すえる。

ア 熱が下がるまで当分安せいにした方がよい。
イ 問題を安ちヨクに捉えてはならない。
ウ 仏像は本堂に安ちされている。
エ 技術革新により安力に製造されるようになった。
オ その民族は安ジュウの地を求めてさまよった歴史をもつ。

この問題はあくまでも一例ですが、漢字について「字形」だけではなく「意味」を理解し、適切に運用できるかを問うものです。語彙問題では、「四字熟語」や「慣用句」、「ことわざ」、「和語」などを含め、日本語に関する幅広い語彙力を問うていきたいと考えております。

【文法問題の一例】

問 次のア～オの——の中で他と性質の違うものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 漁船が海の中に沈んだ。
- イ 彼はとても速く泳いだ。
- ウ ツバメが空高く飛んだ。
- エ 本当に怖いのは帰んだ。
- オ ボールはよくはずんだ。

この問題も一例ですが、語や文の働きを正しく理解できているかを問うものです。文法問題では、「助詞・助動詞」や「文の係り受け」、「敬語」などを含め、日常生活において適切に日本語を使う力を問うていきたいと考えております。